

## 阪堺電気軌道株式会社に対する業務監査の実施結果

| 項 目   | 主な取組み状況   | 所 見 | 所見に対する回答 |
|---|---|-----|----------|
| 1. 地震などの大規模災害時における旅客の避難誘導に関する事項<br>(1) 旅客の避難誘導について<br>①対応マニュアルの整備 | ・ 阪堺電気軌道株式会社（以下「阪堺電気軌道」という。）においては、災害等の異常時における対応について、「異常事態対策規程」に基づき、運輸区及び技術課において策定した「異常事態対策要領」により対応することとしている。同規程類は、災害、異常気象、運転事故や妨害及びデモ等の広範囲に起こりうる異常事態への対応を記したものであり、併発事故の防止、連絡・通報、旅客の安全救護・避難誘導を中心としたものに |     |          |

|                   |   |   |   |
|-------------------|---|---|---|
| <p>②職員への訓練・研修</p> | <p>なっている。また、前述の規程類の他、地震発生時における運転取扱も定めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 阪堺電気軌道では、概ね3年に1回、車両火災発生時を想定した避難誘導訓練及び線路内での人身事故時における死傷者救出を目的とした事故処置訓練を消防と連携して実施している。地震等の災害想定に基づく訓練も毎年実施しているところではあるが、旅客の避難誘導訓練までには至っていない。</li> <li>・ 訓練実施後には職員アンケートを実施しており、そのアンケート結果によると災害想定時の避難誘導訓練実施についての要望が多く見受けられ、職員の意識の高さが表れている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後は、職員アンケートの結果を踏まえたうえで、災害想定時の避難誘導訓練の実施や、関係機関と連携した教育・訓練の実施が望まれる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回訓練アンケートおよび定例業務教育でのアンケート結果を踏まえ、災害想定時の避難誘導訓練を今年度中に実施いたします。 今後も警察・消防との連携を図りながら、より一層充実した合同避難訓練を実施出来るよう取り組みます。</li> </ul> |
|-------------------|---|---|---|





|  |   |  |   |
|--|---|--|---|
| <p>(3) ICカードシステムについて</p> <p>3. その他のサービスに関する事項（前回フォ</p> | <p>対する運賃の割引措置が導入されている。</p> <p>・ 阪堺電気軌道においては、平成26年4月にスルッとKANSAI共通ICカードシステム「PiTaPa」を導入し、全国の10の交通系ICカードによる全国相互利用サービスにも対応する予定である。</p> | <p>単独乗車の場合の距離制限等の条件の撤廃、障害者用のICカード（定期を除く）の導入等の要望が障害者団体等から国土交通省に寄せられており、これらの要望を踏まえ、近畿運輸局としても、阪堺電気軌道に対しても理解と協力を求めているところであり、積極的な検討をお願いしたい。</p> <p>・ ICカードシステムの導入にあたっては、万全の体制で取り組むとともに、利用者サービスの更なる向上につながることを期待する。</p> | <p>・ システム開発業者およびスルッとKANSAIと連携を図り、導入にあたってはシステム障害・および運賃の誤収受等が発生しないよう万全の体制で組みをいたします。</p> <p>また、利用旅客には、車内・駅・ホームページおよびパンフレットに利用方法を明記し、分かり易い案内に努め、将来には更なるサービスが出来るよう取り組んで参ります。</p> |
|--|---|--|---|



|  |       |  |  |
|--|-------|--|--|
|  | 価できる。 |  |  |
|--|-------|--|--|